

1 (5) 地域との連携

地区の運動会の企画・運営に携わる中学生

**こんな実践**

H中学校のある地域では、公民館が主催となり、毎年、地区運動会が開催されています。その中で、中学生が運動会のいくつかの種目を考えるとといった企画・運営の機会をいただいています。地域の方が楽しめる活動にしようと意欲的に取り組む姿が見られた実践です。

実践学校 H中学校

実践学年 全学年（生徒会活動）

実践時期 秋



地区の運動会で号砲を鳴らす中学生

- H中学校のある地域では、毎年、10月下旬に公民館が主催となり、地区運動会が開催されます。その運動会の運営に「中学生にも参加してほしい」という地域の願いがあり、生徒会役員や有志が中心となり参加しています。
- 例年、景品係や放送係等の任された仕事に取り組む形であったため、教頭が、「もっと主体的に地域に関わっていく生徒を育てたい」という学校の願いを伝えました。その結果、生徒がいくつかの種目を企画し、運営に携わる機会がうまれました。



Q：ただのお手伝いではなく、種目の一部分を企画し、運営に携わる機会にしたいと考えたのはなぜですか？

子供たちに、“やりがい”や“感動”を味わってほしいと考えたからです。一部であっても企画・運営を任せられると、子供たちの気持ちや行動が変わります。その姿は地域の方々から喜ばれ、子供たちは地域からの期待を自覚し、それに応える意義を理解できると考えました。



**ここがポイント！**

例年、地域活動への協力依頼があり、同じような関わりしかできていません。どうすれば、充実した活動になるのでしょうか？

- ✓ 学校と地域が関わるために新たな企画を考えだすことは非常に難しいです。そこで、今取り組んでいる地域活動に対しての発想の転換が大事になります。まずは、今ある地域活動を通して、「こんな力を育ていきたい」、「こんな力を発揮させたい」といった学校の願いを明確にしましょう。そして、その願いを地域の方に伝え、できることを考え合ってみましょう。負担が大きすぎると、長続きしません。

- 7月に、公民館主事の方から地区運動会の種目企画の依頼が中学校にあります。その依頼を受け、生徒会が中心となって企画を考えました。

**平成30年度の取組**

地域の方が楽しめる種目については、お題に書いてある人を各分館のテントから探してゴールまで走るという『各分館の〇〇さんを連れてきて!』(借人競争)を企画しました。また、小学生対象の種目については、中学校の生活に関する〇×クイズである『ウルトラクイズ』を企画しました。『ウルトラクイズ』については、生徒会役員が中学校に関する問題を校内放送で全校から募集し、問題を作成しました。

- 地区運動会の企画・運営に携わることもあり、生徒自身が実行委員会にも参加し、自分たちの考えた企画について、委員の方と打ち合わせを行いました。



考えた種目について、打ち合わせを行う中学生

- 生徒は次のような感想をもちました。

(前略)はじめは、参加してくれる人がいるのか、楽しんでもらえるのか、不安でいっぱいでしたが、地域の皆さんが笑って参加してくれる姿を見て、とてもうれしく思いました。このような形で地域貢献ができてうれしかったです。

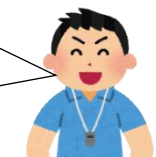


企画した種目の運営を行う中学生

- 自分たちの考えた企画によって地域の方が喜んだり、楽しんだりする姿から、自分たちの取組に対して、達成感や充実感を味わうことができました。

- 担当した生徒会顧問は、次のような感想をもちました。

文化祭の準備の合間に準備を行っていくため、忙しさがありました。しかし、公民館主事の方が、地区全体のことを把握して、種目等にアドバイスをしてくださって、非常に助かりました。また、地域の方に喜んでもらえ、生徒が地域の一員として参加できたと感じて、よかったと思いました。



生徒会顧問



**ここがポイント!**

実行委員会の方との打ち合わせまでも生徒が行ったのはどうしてですか?

- ✓ 実際に地域の方と関わる機会をもつことで、自分が社会の一員であり、頼りにされていることを感じるからです。

**まとめ**

- ・中学生が地域の活動の企画・運営に携わることは、意欲的に社会に関わっていく力を育てることにつながっていきます。
- ・自分たちの考えた活動によって、地域の方が喜んだり、楽しんだりする姿と出会うことや、地域の方から感謝される経験を通して、自己有用感が高まります。